



特集：本物のサンタがやってきた

各務原国際協会は、各種語学講座をはじめとした各国文化紹介、ホームステイなどの国際交流、外国籍住民のための日本語講座などの様々な事業を展開しています。今回は米国カリフォルニア州セリトス市との国際交流事業の一部を紹介します。

◆ サンタクロース保育所訪問事業 ◆

各務原市は2001年(平成13年)米国カリフォルニア州セリトス市と姉妹教育交流協定を結び、毎年中学生を派遣しています。2005年(平成17年)より、そのセリトス市から毎年サンタクロースが各務原市の保育所を訪れるようになりました。

サンタクロースに扮するのは、セリトスロータリークラブのチェット・スワートさん。たくわえた白ひげは本物で、このときのために毎年4月から伸ばし始めます。恰幅がよく、片言の日本語で「コンニチワー」とあいさつする姿は、まさにサンタクロースのイメ

ージにピッタリです。奥さんのフランシス・スワートさんも赤い衣装に身を包み、ミセス・サンタとして一緒に保育所を訪問します。

子どもたちのプレゼントは、各務原ロータリークラブ、各務原中央ロータリークラブ、各務原かかみのロータリークラブの協賛を得て、各務原国際協会が用意します。

サンタクロースが訪問すると、初めて見る本物のサンタクロース(?)の姿に、目を



白黒させる子、ただただ驚いて固まってしまう子、素直に大喜びする子、おそるおそる白いひげを引っ張ってみて本物のサンタクロースか確認する子など、子どもたちの反応は様々ですが、サンタクロースの訪れるところはどこでも、大人も子どもも誰もが笑顔に輝き、本当に皆を幸せな気分にする不思議な力があるんだな、と感じさせます。



また、今年は新たな試みとして、各務原市福祉の里と市内唯一のブラジル人学校ノヴァエタッパへも訪問し、共に歓呼の輪で迎えられました。

保育所では、子どもたちの代表が、サンタクロースに質問をします。子どもたちはサンタクロースにどんなことを聞くのでしょうか。

子どもA：サンタさんはどこから来るんですか。

サンタ：私は北極から来ます。

子どもB：ぼくたちがもらうプレゼントはどうやって作るんですか。

サンタ：北極の工場で妖精たちが作ります。

子どもC：どうやってここまで来たんですか。

サンタ：トナカイのそりに乗って魔法の力でここまで飛んできました。

子どもC：サンタさんは何歳ですか。

サンタ：天と地ができたときからこの世にいます。

子どもD：サンタさんの家族は何人ですか。

サンタ：世界の子ども皆が私の家族です。

いつも明快で夢のある答えをするサンタクロースですが、時には間違えることだってあります。

子どもE：サンタさんが好きな食べ物はなんですか。

サンタ：Sushi & Rice (寿司とご飯)

すると奥さんのミセスサンタが後ろから小声で、「あんた、子どもたちにはミルクとクッキーって言うんじゃないの？」とたしなめられ、

サンタ：(そうだった！)ミルクとクッキーです。

どうやら一般の日本人向け社交辞令と子どもたち用の答えを取り違えてしまったようです。また、いつも機転の利く答えができるサンタクロースも、意外な質問にたじたじとなる場面がありました。

こどもF：サンタのお父さんは何をしていたんですか。

サンタ：（これは困ったな・・・）私のお父さんもサンタでした。

そういった後で「来年までにもっといい答えを考えておかないといけないな」とつぶやいていました。それもそのはず、この世ができたときからいるはずのサンタクロースに、お父さんがいて、しかも子どもにプレゼントを配るサンタクロースをしていたというのは、話が矛盾するからです。

皆で一緒にダンスを踊ったり、クリスマスソングを歌ったりして楽しんだ後は、一人一人プレゼントをもらいます。最後はサンタクロースと記念写真を撮って楽しいひと時が終了します。今年のクリスマスも子どもたちの笑顔を楽しみに、きっとまた訪れてくれるでしょう。



◆ セリトス交流団 ◆

各務原では毎年30名の中学生が海外へ派遣され、ホームステイを体験します。その行き先の一つであるセリトス市から、昨年の6月に8名の高校生と引率教師1名の交流団が当市にやってきました。6月22日(日)から30日(月)までの8泊9日を、9軒のホストファミリーにお世話していただきました。この場を借りてあらためてお礼申し上げます。



鵜飼舟乗船

訪れた高校生たちは、各務原高校と各務原西高校にそれぞれ別れて通い、日本の高校生生活を体験しました。また、授業の合間を縫って、市内の工場や施設見学もしました。

金曜の晩はホストファミリーと鶴飼見物、土曜もホストファミリーと郡上旅行をし、日曜日は各ホストファミリーでおもてなししていただきました。



実は今回来た高校生の中には、以前当市の中学生を受け入れた経験のある生徒さんがみえました。また、今回ホストファミリーをしていただいた方のお子さんの中にも、以前セリトスでホームステイを経験した方がみえます。また、これをきっかけとして10月に当市の中学生をホストとして受け入れてくれた生徒もみえ

ます。地道ではありますが、こうして交流の和が少しずつ広がっていき、ひいては国際理解や国際親善に大きく寄与するものと期待しています。

今年の4月は、当市の中学生派遣団のもう一つの滞在先である米国ユタ州カナブ市からも交流団が来ます。そのうちの1人は昨秋当市の中学生を引き受けていただいた方です。そこでお世話になった当市の中学生のご家庭が、今度は喜んでホストファミリーを引き受けてくださいます。

各務原国際協会の入会について

< 会員の特典 >

- 協会会報KIA TIMES提供（年間3～4回発行、郵送）、イベントチラシ（随時郵送）
- 各種国際協会主催行事への参加、国際協会主催行事での参加料の割引制度があります。

< 1 > 個人会員 1口 2,000円

< 2 > 法人会員(会社・団体) 1口 10,000円

※ ホームページ www.kia1986.org よりのご登録が便利です。

※ 有効期間は、1年間(年度制4月～翌年3月末)

< 各務原国際協会 事務局 >

〒504-8555 各務原市那加桜町1-69 各務原市観光交流課内(産業文化センター5階)
 ホームページ www.kia1986.org メール kia@city.kakamigahara.gifu.jp
 Tel (058)383-1426 Fax (058)389-0765